

## 社会福祉士資格を基礎とした実践力のあるソーシャルワーカー養成

### 一卒業時到達水準に関する養成校と現場の共通認識の形成に向けて一

#### 【趣 旨】

今日、“より高い実践力のある社会福祉士”の養成を目指した新社会福祉士養成課程がスタートしてから7年目を迎えている。このような養成課程の枠組み変化に対応して、北海道ブロックでは、この数年来、共通様式としての相談援助実習評価表の作成、相談援助実習の臨床参加型への移行に向けた取り組み、その前提としての実習前評価システムの施行等を進めてきた。その中では、相談援助実習を一つの教育展開上の区切りとして、実習前教育の内容と方法、求められる到達水準が主要な課題とされてきた。実習前評価システムの一部として実施している CBT（知識試験）や OSCE（技能試験）は、社会福祉実習教育および養成教育の刷新に向けた新たな取り組み例といえる。

一方で、実習による到達水準と卒業までの事後教育について、その現状と課題は十分な議論がなされてきたとは言い難く、これは今後の重要な教育課題である。養成されるべき人材像が「社会福祉士」に止まらず、「社会福祉士資格を基礎とした実践力のあるソーシャルワーカー」であることが志向されるならば、それに対応した専門職養成教育の最終ゴールが想定されなければならない。そのためには、実習前教育と相談援助実習のみならず実習後教育から卒業までの期間の養成教育内容とその効果的な実施方法、そしてその前提として卒業時到達水準（＝新卒者が備えていることが期待される力量）についての検討が不可欠である。それは、養成校と実習施設・機関および職能団体を含んだ現場との協働作業として行われることが重要であり、まずは相互の共通認識の形成が目指されなければならない。

以上を踏まえ、2015 年度は「社会福祉士資格を基礎とした実践力のあるソーシャルワーカー養成」としての卒業時到達水準について、関係者間での共通認識を形成することを目指して、現状認識の確認と意見交換および今後の取り組み課題の整理と明確化を行うことを主眼に本セミナーを開催する。なお、このテーマは2年計画で取り組むこととし、2015 年度はその第1弾と位置づけたい。

【主 催】 北海道ブロック社会福祉実習研究協議会  
（一社）日本社会福祉士養成校協会北海道ブロック  
（一社）日本社会福祉教育学校連盟北海道ブロック

【日 時】 2015 年 11 月 7 日（土）～8 日（日）  
第 1 日目 （受付 9：30） 10：00～17：30 \* 終了後懇親会  
第 2 日目 （受付 9：00） 9：30～15：30

【会 場】 北星学園大学 C 館（メイン会場：C700 教室）  
札幌市厚別区大谷地西 2 丁目 3 番 1 号 地下鉄大谷地駅徒歩 5 分

【参加費】 養成校教員 2,000 円（1 日のみ参加も同額）  
現場指導者 1,000 円（同 上）  
学 生 無 料

<第1日目> (C館700教室)

全体進行：畑 亮 輔 (北星学園大学)

9:30 受付

10:00 開会・運営委員長挨拶

池田 雅子 (北星学園大学)

10:10 各種活動・結果報告

(1) 全国動向

池田 雅子 (北星学園大学)

(2) 委員会報告

実習委員会

越石 全 (札幌医学技術福祉歯科専門学校)

実習前評価システム小委員会

川 勾 亜 紀 奈 (北海道医療大学)

実習評価表等小委員会

丸 山 正 三 (専門学校日本福祉学院)

研修委員会

巻 康 弘 (北海道医療大学)

(3) 実習施設・機関及び実習生調査結果

川 勾 亜 紀 奈 (北海道医療大学)

(4) 実習前評価システム施行状況報告

各加盟校担当者

12:00 休憩 (昼休み)

13:00 基調講演

米 本 秀 仁 (北星学園大学名誉教授)

「社会福祉士資格を基礎とした実践力のある

ソーシャルワーカー養成に向けた卒業時到達水準の考え方と論点」

福祉サービス利用者の最善の利益を保証するために、援助する社会福祉士資格を有するソーシャルワーカーの「質の担保及び標準化」を目指した実習教育・指導の「質の担保及び標準化」を構築することが北海道ブロックのこれまでの流れであった。統一実習評価表の評価項目を獲得目標として、その達成のために実習契約、実習指導プログラム、実習前評価システム (実習コンピテンス、CBT、OSCE) 等々の統一を実現してきた。この流れの中で、実習を含む社会福祉士資格を有するソーシャルワーカー養成教育の最終成果である卒業時の到達水準の目標の確立を目指した新しい検討が始まる。現場と養成校と学生の関係構造における卒業時の到達目標を明確に設定し、その達成のために必要な養成教育体系を考える時期に来ているが、この教育体系の「質の担保及び標準化」を保証するための考え方が「モデル・コアカリキュラム」である。本講演は、これらの流れと新たな考え方を概観したい。

14:15 休憩

14:30 シンポジウム

「卒業時到達水準をめぐる現状と今後の取り組み課題

ー養成校における卒業までの事後教育と職能団体における新人研修を手がかりにー」

本シンポジウムでは、養成校の実習後教育と職能団体の新人研修という2つの視点から、具体的な論点として次の内容について取り上げる。養成校については、相談援助実習後の到達水準に加え、実習事後指導科目と演習科目及びその他の教育内容、その結果として想定している教育成果としての卒業時到達水準のイメージ、その到達状況の実情である。現場については、職能団体が実施している新人研修の内容・構成に焦点をあて、それが想定している新人の到達水準、また職能団体として期待する卒業時到達水準のイメージである。これらを踏まえ、本シンポジウムでは、社会福祉士資格を基礎とした実践力のあるソーシャルワーカー養成に求められる卒業時到達水準について、養成校と現場のそれぞれの現状および認識を確認・共有した上で、今後求められる取り組み課題を探索的に議論する。

シンポジスト：養成校 巻 康弘 (北海道医療大学)

シンポジスト：養成校 池田 雅子 (北星学園大学)

シンポジスト：養成校 笠師 千恵 (北海道福祉大学校)

シンポジスト：職能団体 山本 幸治 北海道社会福祉士会 (札幌市保健福祉局)

シンポジスト：職能団体 保科 健 北海道医療ソーシャルワーカー協会 (北海道医療センター)

司 会 伊藤 新一郎 (北星学園大学)

コメンテーター 米 本 秀 仁 (北星学園大学名誉教授)

<第1日目> (続き)

16:50 自由研究・実践報告 (各20分:10分報告、10分質疑)

17:30 終了

18:00 懇親会 (会場は北星学園大学生協:会費3,500円)

<第2日目>

9:00 受付 (C700 教室前)

9:30 分科会

「卒業時到達水準に関する養成校と現場の共通認識に向けて

—養成校での卒業時を見据えた事後教育と現場が新卒者に求める力量から—

分科会では、卒業時到達水準に関する養成校と現場の共通認識形成に向けて、領域別に養成校での卒業時を見据えた事後教育と現場が新卒者に求める力量という2つの視点から展開したい。その上で、話題提供として養成校からは実習後の到達水準を前提に卒業時を見据えた事後教育内容の実際とそこでの課題を踏まえ、送り出す側が考える卒業時到達水準について発題してもらう。現場からは、まず若手ソーシャルワーカーに入職時の自分について体験的語り(例えば、養成校での教育内容から、何がどのくらい遂行できたか・できると思っていたか等)をしてもらう。次に一定の実践経験を持つソーシャルワーカーから採用時に期待したい新人の到達水準(例えばケース担当能力ならばどの水準を求めるか、実習生と新人に求める水準の違い等)に関する発題を受け、これらの題材に参加者間での共通認識形成とそのため論点整理に向けた意見交換を行う。

第1分科会 高齢・地域領域 (C館教室)

司会:新田雅子(札幌学院大学)

現場発題①:若手 調整中、現場発題②:柏倉明人(特別養護老人ホーム清幌園)

養成校発題:吉田修大(北翔大学)

第2分科会 障がい児者・児童家庭領域 (C館教室)

司会:長谷川武史(名寄市立大学)

現場発題①:若手 調整中、現場発題②:古川義則(障害者支援施設青雲)

養成校発題:平野啓介(札幌医学技術福祉歯科専門学校)

第3分科会 保健医療領域 (C館教室)

司会:丸山正三(専門学校日本福祉学院)

現場発題①:若手 調整中、現場発題②:下倉賢士(札幌南青洲病院)

養成校発題:横山登志子(札幌学院大学)

※分科会は参加人数によって再編される場合があります。

12:00 休憩(昼休み)

13:00 全体会 (C700 教室)

全体進行:畑 亮 輔(北星学園大学)

全体会では、まず分科会報告により卒業時到達水準に関する領域ごとの認識や課題の共通点・相違点を整理する。その上で、全体討議において1日目の基調講演・シンポジウムの議論も踏まえて「社会福祉士資格を基礎とした実践力のあるソーシャルワーカー養成」としての卒業時到達水準と、それに向けた今後の取り組み課題を検討する。

(1) 分科会報告

(2) 全体討議

総括:池田雅子(北星学園大学)

15:30 閉会

# 申込期限：2015年10月30日（金）必着

F A X 011-896-7660（北星学園大学 畑研究室）宛

## 2015年度北海道ブロック社会福祉実習セミナー 申込用紙

参加者名	職名	分科会の希望		お弁当		懇親会
		第1希望	第2希望	1日目 1,000円	2日目 1,000円	
【記入例】 北星 花子	生活相談員	1	3	×	○	○
合計	名			個	個	名

\* 記入欄が足りない場合は、恐れ入りますが、コピーして下さい。

<ご連絡先> 必ずご記入をお願いいたします。

代表者氏名：
所 属：
住 所：〒 _____
TEL： _____ ( _____ )
E-mail： _____ @ _____
通信欄（どちらか1日のみご参加の場合は、こちらにご記入下さい）

※1 メールの方は北海道ブロック事務局宛（北星学園大学 社会福祉学部 福祉臨床学科 畑研究室：hata@hokusei.ac.jp）までファイルを添付のうえお送りください。

※2 自由研究発表をご希望の方は10月30日までに上記事務局（北星：畑）までメールにてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

※ こちらの申込用紙のワードファイルデータは一般社団法人日本社会福祉士養成校協会のHPからダウンロードできます。